

「田辺都市計画道路の見直し(素案)について」に対する意見公簿(パブリックコメント)の実施結果について

1. 実施結果の概要

(1)実施期間

平成30年9月20日(木)～平成30年10月22日(月)

(2)意見の提出状況

提出者数	1名
意見数	2件
回答数	1件

2. いただいたご意見と田辺市の考え方

いただいたご意見の概要と市の考え方は、次のページのとおりです。

なお、いただきましたご意見は、田辺市意見公募手続実施要綱第7条第2項第1号の規定により、「提出された意見の概要」について公表することとしております。

意見書	意見番号	要約案	回答案
1	1	<p>内環状線⑥-7,8区間の早期開通及び扇ヶ浜大戸線⑨-3の事業化 (理由)</p> <p>新庁舎の完成後は、田辺高校、南紀高校周辺の通過交通の増加が予測され、さらなる事故発生の危険が増すと考えられる。</p>	<p>都市計画道路の見直しの結果、存続候補路線となった路線は、今後、整備の効果や事業費を考慮しながら、早期完成に向け計画的に整備を進めていきたいと考えています。</p> <p>また、ご意見を頂きました廃止路線については、都市計画事業として路線全体の整備は行いませんが、部分的な改良などについては、関係各課と共に引き続き検討を行ってまいります。</p>
	2	<p>外環状線⑦-2区間の早期開通・立体交差の実現 (理由)</p> <p>新庁舎の完成後は、田辺バイパスから向かう際は新万から朝日ヶ丘交差点を経由し、つぶり坂に至るルートが中心に使われると考えられるが、道路幅員が狭く、通学路にもなっており、危険が増すと考えられる。橋谷接続部では、新たな渋滞を引き起こさないように、立体交差などの工夫が必要と考えられる。</p>	